



# 女性の健康の取り組みは、 「やっているか」では差がつきません。

健康経営度調査に回答し、公開に同意した2,938法人のデータを、  
研修の対象者をどこまで広げているかで並べ直しました。

---

Flora株式会社 2026

|     |                             |     |
|-----|-----------------------------|-----|
| 01  | この調査で「女性の健康」はどこを見られているか     | P.3 |
| 02  | 認定で問われるのは、実施しているかどうかだけです    | P.4 |
| 03  | 評価は、対象をどこまで広げたかで段階的に動きます    | P.5 |
| 04  | 全従業員向けの研修は、3社に1社が参加率10%未満です | P.6 |
| 05  | 中央値の差より、業種の中のばらつきの方が大きい     | P.7 |
| 06  | 効果検証のテーマに載せているのは11.1%です     | P.8 |
| まとめ | 数え方を変えていくと、最後に残るのは67社です     | P.9 |

### この資料の3つの数字

# 9.2%

女性特有の健康課題に関する研修を何も実施しておらず、評価項目が不適合になった法人の割合。270社です

# 33.9<sub>pt</sub>

研修の対象が0区分の法人と3区分の法人で、課題5偏差値の中央値がどれだけ違うか。37.3と71.2です

# 11.1%

健康経営の効果検証のテーマとして、女性特有の健康課題を挙げた法人の割合。325社です

## 評価項目は1つ、設問は2つ。数字が動くのは設問の側です

健康経営優良法人の認定要件で女性の健康にあたるのは、評価項目⑨「女性の健康保持・増進に向けた取り組み」の1つです。これに対応する設問は2つあり、そのうちQ48は、女性特有の健康関連課題についての研修を **どの従業員を対象に行っているか**を複数選択で答え、あわせて対象ごとの参加率を書く形式になっています。

選択肢は3つ、いずれも選ばなければ評価項目は不適合です。同じ実施しているという回答の中に、女性だけに行っている法人と、管理職を含め全社に広げている法人が並びます。本資料は2,938法人の回答を、この対象の広さで並べ直しました。

**順位表ではありません** 法人名は扱いません。示すのは分布と中央値、そして対象の広さと評価の関係です。

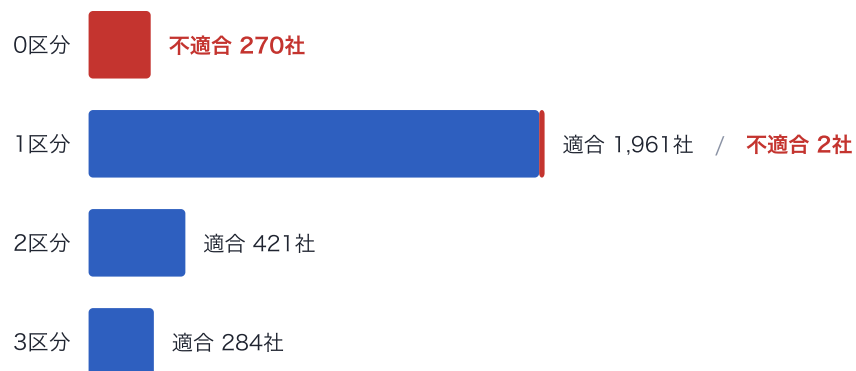
### Q48で選ぶ3つの対象と、参加率の分母

|          |                                       |
|----------|---------------------------------------|
| 選択肢1     | 参加者を女性のみに限定して実施 参加率の分母は全女性従業員         |
| 選択肢2     | 管理職のみに限定し、管理職向けの内容で実施 分母は全管理職         |
| 選択肢3     | 男女や管理職等の対象を限定せず実施 分母は全従業員             |
| いずれも選ばない | 評価項目⑨は不適合となります                        |
| 対象になる課題  | 月経に伴う心身の変化(PMS・月経随伴症状)、更年期症状、婦人科系疾患など |

出典：経済産業省・日本経済新聞社「健康経営度調査」（2025年度・大規模法人部門）の調査票と評価結果公開データをもとにFlora株式会社が集計。設問文は要約しています。

## 1区分でも実施していれば、1,963社中1,961社が適合しています

### 研修の対象区分数と、評価項目⑨の適否(2,938社)



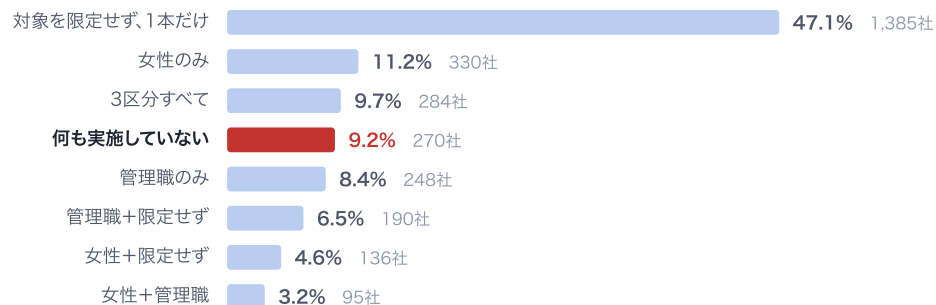
横幅は法人数に比例(合計2,938社)。赤は評価項目⑨が不適合。

評価項目としての合否は、実施しているかどうかだけで決まります。対象が女性だけでも、参加率が1割でも、実施していれば適合です。不適合になったのは、何も実施していない270社と、他の要件で外れた2社だけでした。

認定の合否と、評価の高さは別のものです。合否だけを見ると、9割の法人が同じ位置に並びます。

実施パターンで見ると、最も多いのは対象を限定しない研修を1本だけ行っている形で、47.1%を占めます。1区分の法人の7割がこの形です。

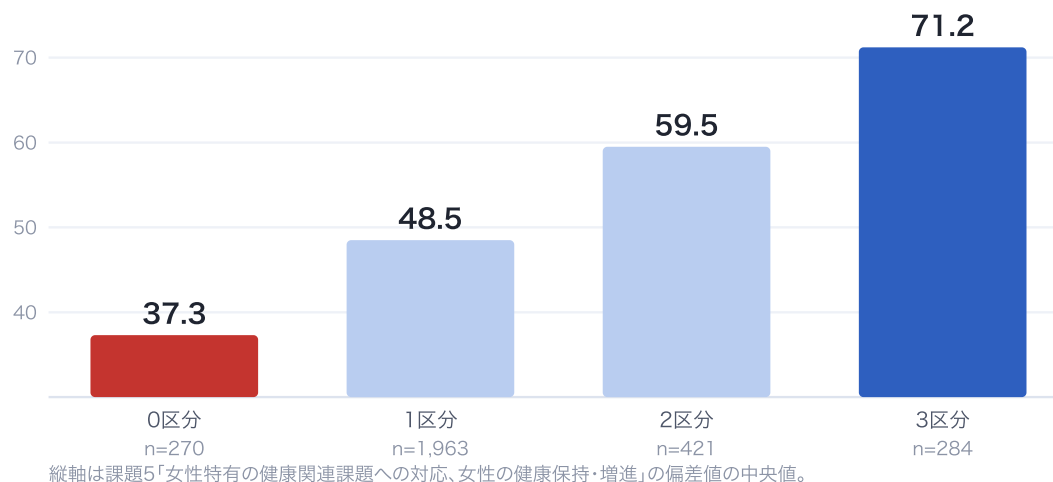
### 実施パターン別の法人数(同上)



注:認定基準16⑨の適否は公開データの判定欄から取得。0区分は選択肢1〜3のいずれも選んでいない法人です。

## 対象を1区分増やすごとに、偏差値の中央値は約11ポイント上がります

研修の対象区分別 課題5偏差値の中央値



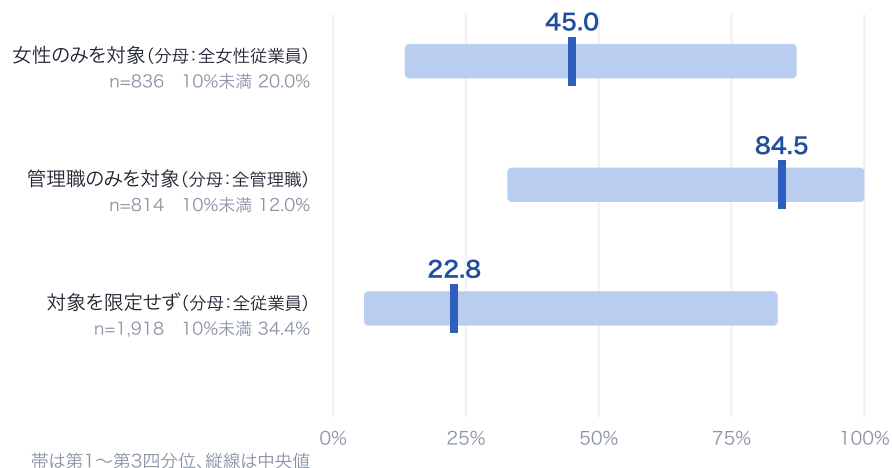
0区分の37.3から3区分の71.2まで、段階がそのまま並びます。1区分から2区分で11.0ポイント、2区分から3区分で11.7ポイント。実施の有無では9割が同じ扱いでも、評価の側は対象の広さを見ています。

**因果ではありません** この偏差値はQ48の回答を含む複数の設問から計算される合成指標です。この並びは、研修を広げれば評価が上がるという因果を示すものではありません。**評価がどこを見ているか**を映したものと読みください。

注：課題5は「女性特有の健康関連課題への対応、女性の健康保持・増進」。偏差値は調査全体での相対値です。

## 全従業員向けに広げた法人の3社に1社は、参加率が10%未満です

### 対象区分別 2024年度の参加率の分布



対象を広げるほど参加率は下がります。管理職向けは中央値84.5%、女性限定は45.0%、対象を限定しない場合は22.8%でした。分母が違うので単純には比べられませんが、全従業員向けの34.4%が10%未満という数字は、分母の違いでは説明できません。

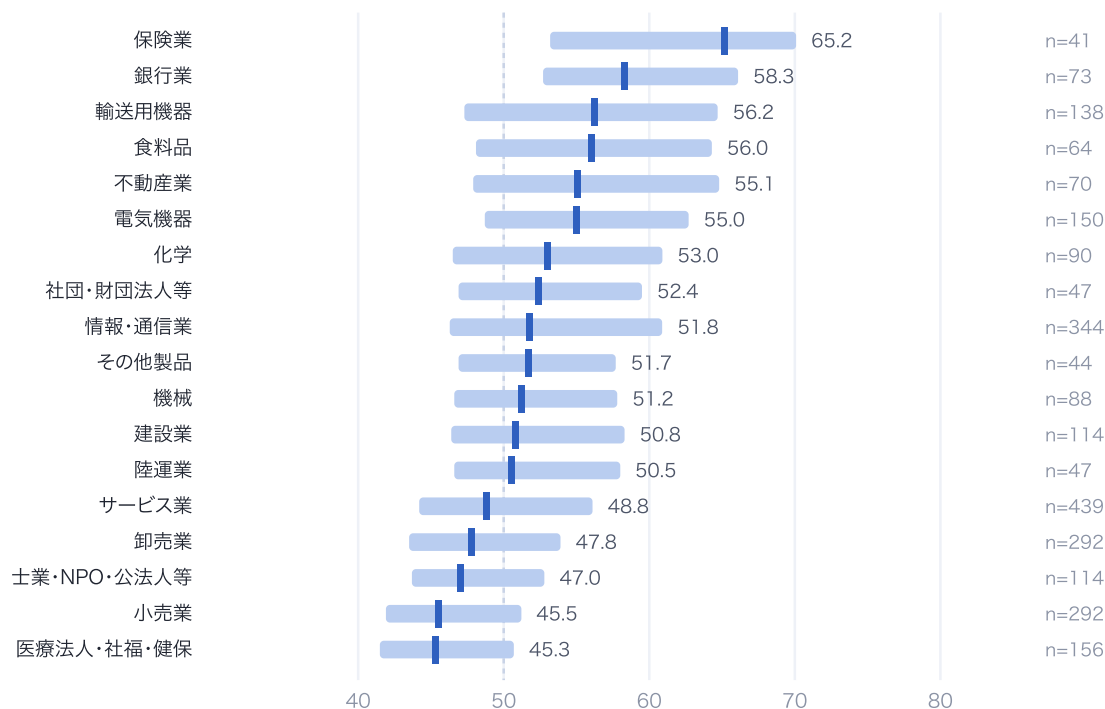
対象を広げた分、届いた割合は下がります。実施したかと、届いたかは別の数字です。

**四分位の幅について** どの区分も第1四分位と第3四分位が大きく離れています。対象を限定しない研修では、第1四分位が5.8%、第3四分位が83.7%でした。同じ全従業員向けの実施でも、中身は案内を出しただけの法人と、全社で時間を取った法人に分かれています。

注: 各区分を実施していると回答した法人のみを集計。参加率の分母は区分ごとに異なります (P.3)。

## 中央値の差は20ポイント。ただし業種の中の幅はその倍あります

業種別 課題5偏差値の分布(回答40社以上の18業種)

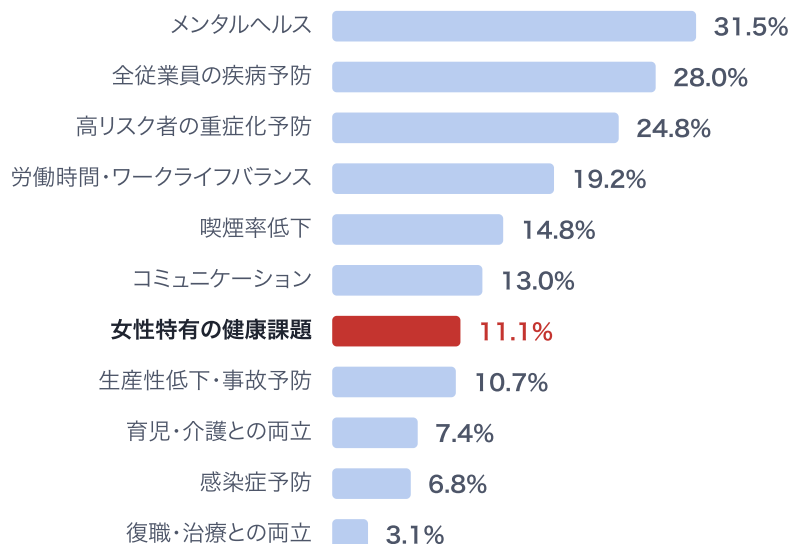


中央値は保険業の65.2から医療法人・社会福祉法人・健保組合の45.3まで、20ポイント開きます。一方で、どの業種も第1四分位から第3四分位までに10ポイント以上の幅があり、最小値と最大値まで見ると、ほぼすべての業種が32から80の範囲に散らばっていました。

**業種平均は基準になりません** 同じ業種の中に、何も実施していない法人と3区分すべてに広げている法人が同居しています。業種の中央値を目標に置くより、自社が何区分かを先に見る方が早く動けます。

## 実施は9割、検証のテーマに載せているのは11.1%です

効果検証のテーマとして挙げられた健康課題(2,938社、複数選択)



法人数に占める割合(複数選択)

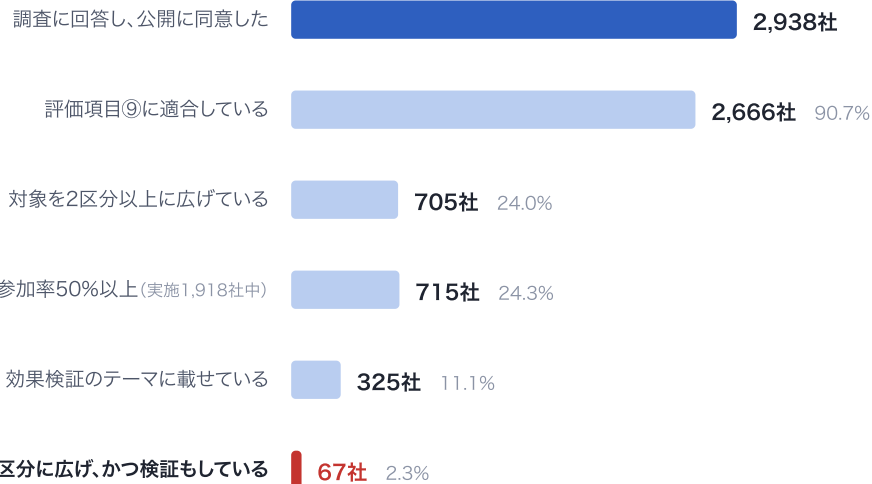
健康経営の効果検証で取り上げるテーマを2つまで答える設問では、女性特有の健康課題を挙げたのは325社、11.1%でした。11テーマ中7番目です。研修の実施では2,666社が適合している一方で、その効果を検証の対象にしているのは325社にとどまります。

研修を実施した法人のうち、その効果を検証しているのは8社に1社です。

注: Q71SQ1の効果検証①②のいずれかでテーマ5を選んだ法人を集計。複数選択のため合計は100%を超えます。

## 数え方を変えていくと、最後に残るのは67社です

### 問いを変えて数えたときの法人数(2,938社)



横幅は2,938社に対する割合

実施の有無で数えると9割が残ります。対象の広さで数えると4社に1社になり、参加率で数えても同じくらいの水準です。効果検証まで数えると1割を切ります。研修を3区分に広げ、あわせて検証のテーマにも載せている法人は67社、全体の2.3%でした。

この調査で差がつくのは、実施したかどうかの一段あとにある、誰に届いたか、どれだけ届いたか、何を測ったかの3つです。

対象を1区分増やす、参加率を分母とセットで出す、検証の指標を1つ決める。この3つはどれも、制度を新しくつくらずに動かせる項目です。

## この資料の数字は、公開に同意した法人の回答です

|        |                                                 |
|--------|-------------------------------------------------|
| 対象     | 健康経営度調査(2025年度・大規模法人部門)に回答し、評価結果の公開に同意した2,938法人 |
| 出所     | 経済産業省・日本経済新聞社が公表した評価結果公開データ。<br>Flora株式会社が集計・加工 |
| 集計日    | 2026年9月                                         |
| 中小規模法人 | 本資料には含みません。中小規模法人部門は別の調査票と別の集計です                |

**母集団について** 公開に同意した法人だけの集計です。調査に回答しながら公開しなかった法人、そもそも回答していない企業は含みません。日本の企業全体を表す数字ではありません。健康経営に取り組み、その結果を外に出すと決めた法人の姿として読んでください。

**偏差値について** 課題5の偏差値は、Q48の回答を含む複数の設問から計算される合成指標です。対象区分数との並びは連動であって、因果を示すものではありません。

**参加率について** 2024年度の実績で、分母は区分ごとに異なります(全女性従業員・全管理職・全従業員)。実施していると回答した法人のみを集計しているため、未実施の法人は0%として入っていません。

## 回答の前に、4つ確かめられます

|   |                                                                                     |
|---|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | <b>自社が何区分かを数える</b> 女性のみ、管理職のみ、対象を限定しない。この3つのうちいくつを実施しているか。1区分なら、評価の並びでは下から2番目の層にいます |
| 2 | <b>参加率を分母とセットで出す</b> 参加した人数だけでなく、何人のうち何人かを。全従業員向けで10%を下回っていないかは、回答前に分かります           |
| 3 | <b>効果検証のテーマに載せられるか見る</b> 載せている法人は11.1%です。検証できる指標を1つ決めておけば、来年度の回答で選べます               |
| 4 | <b>業種の中央値と比べない</b> 同じ業種の中での幅の方が大きいことは、P.7のとおりです                                     |

### 回答の時期

健康経営度調査は例年夏に受付が始まり、秋に締め切られます。対象を広げるか、参加率を測り始めるかは、回答の直前では決められません。年度の前半に決めておく項目です。

いまの回答が何区分かを数えるところから、来年度の回答は変えられます。

## FloraのWellflow

Wellflowは、女性の健康を含む従業員の不調を扱うプログラムです。研修の対象をどこまで広げるか、参加率をどう測るか、何を効果検証の指標にするかを、調査票の項目に沿って設計するところからご一緒にします。

|         |                                                 |
|---------|-------------------------------------------------|
| 研修      | 女性のみ、管理職向け、全従業員向けのそれぞれに合わせた内容。生理痛体験研修もこの中に含まれます |
| 測ること    | 参加率と、その分母。研修の前後で何が変わったかを見るための設問                 |
| お渡しするもの | 回答に使える集計と、次年度の計画。健康経営度調査の該当設問との対応表              |
| 費用      | 対象人数と期間によって変わります。個別のお見積もりをご案内します                |

### あわせてお使いいただける資料

**健康経営度調査「女性の健康」設問チェックリスト** 該当設問と、回答前に確かめる項目をまとめています。

**健康経営優良法人2027「女性の健康」チャプター** 認定要件のうち女性の健康に関する部分の解説です。

自社の回答が何区分で、参加率がいくつかを一緒に数えるところから始められます。



## 実施したかと、 届いたかは、別の数字です。

2,938法人のうち、9割が評価項目に適合しています。

その中で、対象を3区分に広げた法人と何もしていない法人の偏差値は33.9ポイント離れ、  
効果検証のテーマに載せているのは11.1%でした。

SERVICE

[biz.flora-tech.jp/ja/wellflow](https://biz.flora-tech.jp/ja/wellflow)

CONTACT

[admin@floramaternity.com](mailto:admin@floramaternity.com)

Flora株式会社 〒606-8317 京都市左京区吉田橘町32番地